

第 38 回 CPD 協議会 ECE プログラム委員会幹事会
議事録

1. 日時：平成 29 年 1 月 24 (火) 15:00-17:00
2. 場所：日本工学会 (森戸記念館 第二会議室)
3. 出席者：(アンダーラインで示す、なお以下敬称略) 広崎膨太郎、石原直、武田晴夫、秋永広幸、渡邊 誠、加藤穂慈、京谷美代子、田辺朗、松村正明、持田侑宏
奥津良之 (記録)
4. 配付資料
資料 38-1 ECE プログラム委員会名簿(H29. 1. 24 版)
資料 38-2 第 37 回 ECE プログラム幹事会議事録(案) (H28/11/22)
資料 38-3 第 6 回 ECE プログラム委員会(H28 年 12 月 27 日)議事次第および配布資料
5. 委員長挨拶
アイデアを広げ、体系化の意思を以って ECE プログラム群に広がりを持たせたい。例えば工学会は第 1 部門から第 6 部門まで有るので、其々に ECE プログラムが準備されると良いかも知れない。今後いろいろと議論を交わしてほしい、との挨拶の後審議に入った。
6. 前回議事録(案)確認
指摘無く 議事録は承認された。
7. 各報告
昨年末 12 月 27 日に行われた第 6 回 ECE プログラム委員会について情報共有を目的に報告が行われた。
 - NIMS 渡邊委員より物質・材料基礎 ECE プログラムの実施状況について口頭報告があった。
 - SICE 奥津委員より、プロセス新塾の進捗につき順調に推移している旨報告があった。
 - エレキ・イノベーション人材 ECE プログラム Feasibility Study (第一回) 議事メモ(案)に基づき、奥津幹事より経過説明があり情報を再共有した。
 - 補足資料として TechShop Tokyo/ Shopguide が石原副委員長より回覧された。
(<http://www.techshop.jp> あるいは <https://www.facebook.com/techshopjapan/>)
- 奥津代読にて、秋永委員ご担当の AI/IoT 教育について NEDO と産総研が協同して教育プログラムを作り上げる準備活動について進捗紹介があった。なお、本関連委託研究が NEDO 委託研究として採択された。<http://www.nedo.go.jp/content/100790655.pdf>
来年 2 月に座学・実習を含んで試行をおこなう。(2017 年 2 月 23, 24 日の予定 IN NEDO)
現在その実習のマスターパターンを設計中である。これらを積み上げてゆき 2018 年を目途に ECE 化したい。
NEDO 古川理事長に次回 CPD シンポジウム招待講演をお願いしたい。秋永委員に繋ぎを取って戴きたい。NEDO テーマ「ユーザドリブン型価値創造プラットフォーム」+「人材育成」。

●石原副委員長からハード技術では実習を交えた教育プログラムが有効と思う。ただ、それには実験環境が必要となるので、利用可能な施設の調査や利用法の検討が必要、との意見があった。

●「エレキハード技術者の育成が急務と考えられる。とくに生産技術力低下は日本国として今や喫緊の課題になった。京谷委員、武田委員、石原副会長/アドバイザー、（奥津幹事）で組んだタスク検討を加速したい。タスクチームは計画の青写真を描いてみる。IoTに関するエレキものづくりのイメージかも知れない。

現状のISSUEを各員が披露し、さらに問題意識につき学習を進めた。エレキ・イノベーション人材ECE Feasibility Study 活動は秋永委員 AI/IoT ECE 開発活動とも深く関連していることがさらに明確になった。

次回（第39回会合）は2017年

3月23日(木)（於 森戸記念館）15:00～17:00 を申し合わせて閉会とした。（幹事長はメンバーの都合を確認して日程を決める）

以上